

専門・認定看護師会ニュースレター

With コロナと After コロナ 考えてみる感染対策

新型コロナウイルス感染症の大流行で、私たちが（感染対策で）学んだことは・・・

- ① 手指衛生の重要性：手から手へ、感染が拡大していくことを防ぐことができる！
一例）インフルエンザが流行しなかった・アルコールによる手指衛生が一般的な常識になり、あらゆるところで消毒する機会が増加した・・・**接触感染予防策**
- ② マスクの重要性：唾液やしびき（いわゆるエアロゾル）から、防御することが習慣になった！・・・**飛沫感染予防策**
- ③ 3密を避ける：常識になった！
- ④ 体調不良時は無理しない：無理に働かない・出かけない・人に会わないが当たり前になった！
- ⑤ ワクチンの有効性：り患しても重症化を避けることができる！医療者として優先的な接種で、自分も周りも守ることができる！

恐らく、当分の間、①～⑤までは継続していく必要があるでしょう。

地球規模で、移動・情報伝達がだれでも可能になった昨今、コロナが終息することがあっても、次の感染症の脅威は変わりありません。そこでその脅威から、自分の身を守る術として**標準予防策の考え方**があるのです！

【標準予防策とは】感染症の有無に関わらず、血液、汗を除く体液、傷のある皮膚、粘膜を感染性のあるものとして取り扱うこと。

残念ながら、医療従事者は仕事柄、（コロナに限らず）感染症にかかるリスクは、一般の人よりも高いのは事実ですし、以前よりよく言われることです。

一般の人より、気を使わないといけないというストレスを日々感じてしまっていますが、気を緩めると自分が感染症にかかる/広めてしまう、というような、社会的な影響力が大きいことを改めて自覚しましょう。

今後、コロナはインフルエンザと同じ扱いになるのかな？
かもしれないな。



アマビエ、
がんばって！

